

医療機器・ヘルスケアプロジェクトについて

令和3年5月25日

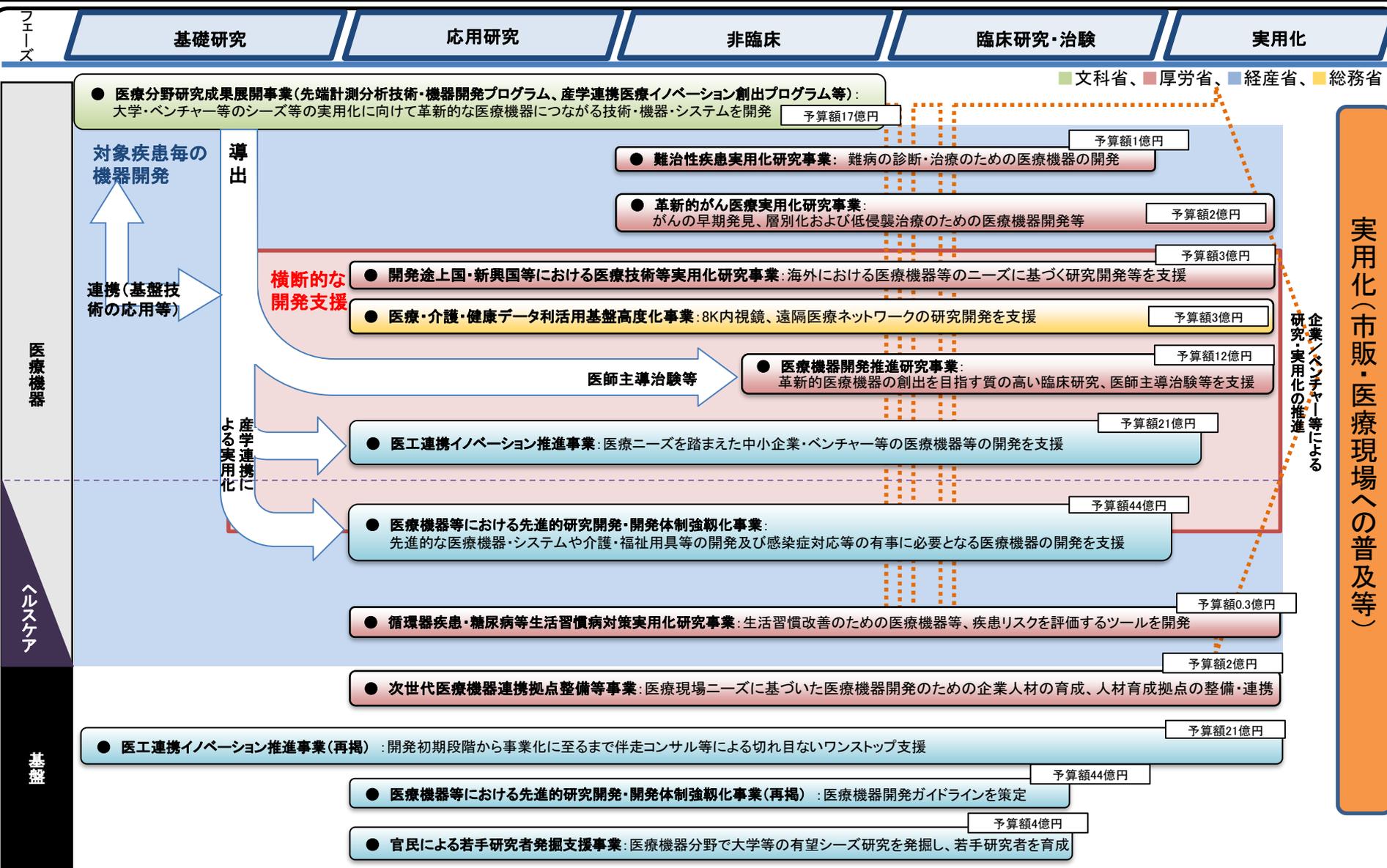
内閣府 健康・医療戦略推進事務局

経済産業省 商務・サービスグループ

2. 医療機器・ヘルスケアプロジェクト

日本医療研究開発機構対象経費
令和3年度予算額109億円

AI・IoT技術、計測技術、ロボティクス技術等を融合的に活用し、診断・治療の高度化や、予防・QOL向上に資する医療機器・ヘルスケアに関する研究開発を行う。



健康・医療戦略（抄）

3.基本方針

3.1.世界最高水準の医療の提供に資する医療分野の研究開発の推進に係る基本方針

（略）

○基礎から実用化までの一貫した研究開発

- 引き続き、AMEDによる支援を中核とした産学官連携による基礎から実用化まで一貫した研究開発の推進と成果の実用化を図る。

○モダリティ等を軸とした統合プロジェクトの推進

- 関係府省や機関が持つエビデンス（研究者等への調査、論文調査、海外動向等）を分析した上で、重点化する領域等を抽出する。
- 疾患を限定しないモダリティ等の統合プロジェクトに集約することにより、AIなどデジタル技術の活用を図りつつ、新たな医療技術等を様々な疾患に効果的に展開する。
- 疾患領域に関連した研究開発は、モダリティ等の統合プロジェクトの中で推進するが、プロジェクト間の連携を常時十分に確保し、特定の疾患ごとに柔軟にマネジメントできるようにする。
- 開発目的（予防／診断／治療／予後・QOL）にも着目した、健康長寿社会の形成に向けた健康寿命延伸という目標のために最適なアプローチを選択する。

○最先端の研究開発を支える環境の整備

- 産業界も含めた研究開発促進のため、臨床研究拠点病院などの研究基盤、イノベーション・エコシステム、データ基盤、人材育成、研究開発成果実用化のための審査体制の整備などの環境整備を推進する。
- 特に、研究開発に資するデータの連携基盤を構築するとともに、利活用しやすい環境を整備する。

4.具体的施策

4.1.世界最高水準の医療の提供に資する医療分野の研究開発の推進

(1) 研究開発の推進

(略)

②医療機器・ヘルスケアプロジェクト

- AI・IoT技術や計測技術、ロボティクス技術等を融合的に活用し、診断・治療の高度化のための医療機器・システム*、医療現場のニーズが大きい医療機器や、予防・高齢者のQOL向上に資する医療機器・ヘルスケアに関する研究開発を行う。また、医療分野以外の研究者や企業も含め適切に研究開発を行うことができるよう、必要な支援に取り組む。

*医療機器プログラム（治療アプリ等）を含む